

令和元年 6 月 28 日

令和元年第 2 回神奈川県議会定例会

かながわランドデザイン調査特別委員会資料

# 目 次

ページ

健康長寿について ..... 1

参考資料1 かながわランドデザイン第3期実施計画 プロジェクト編（案）

参考資料2 かながわランドデザイン第3期実施計画 主要施策・計画推進編（案）

参考資料3 かながわランドデザイン第3期実施計画（案） 指標・KPI一覧

## 健康長寿について

### (1) 策定の趣旨

- ・ 県では、県政運営の総合的・基本的指針を示す総合計画として、平成24年に「かながわグランドデザイン基本構想」（以下「基本構想」という。）及び「かながわグランドデザイン実施計画」を策定するとともに、27年に「かながわグランドデザイン第2期実施計画」（以下「第2期実施計画」という。）を策定し、様々な課題への対応を着実に進めてきた。
- ・ 平成30年度に「第2期実施計画」の最終年度を迎えたことから、政策全般について点検を行った結果、少子高齢化、グローバル化、技術革新の動きなどに進展はあるものの、「基本構想」策定時の社会環境については、変化の傾向が継続していることが確認できた。また、国連において採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の理念と県がこれまで進めてきた取組みは、軌を一にするものであることも確認できた。
- ・ こうしたことから、今後も現行の「基本構想」の方向性に沿って政策を推進することとし、「かながわグランドデザイン第3期実施計画」（以下「第3期実施計画」という。）を策定して取り組むこととした。

### (2) これまでの検討状況

平成31年4月15日	総合計画審議会への諮問
4月17日	県民意見募集等の実施（5月16日まで）
4月19日	総合計画審議会計画推進評価部会・計画策定専門部会（以下「部会」という。）における「第3期実施計画（素案）」の審議
令和元年5月17日	第2回県議会定例会 全常任委員会へ「第3期実施計画（素案）」の報告
5月22日	総合計画審議会における「第3期実施計画（素案）」の審議
5月30日	部会における「第3期実施計画（案）」の審議
6月6日	総合計画審議会における「第3期実施計画（案）」の審議

### (3) 「第3期実施計画（案）」の概要

- ・ 県の政策の全体像を総合的・包括的に示す「主要施策」などをまとめた「主要施策・計画推進編」と、喫緊の課題に対応するため先進性や発展性などをもった重点施策を分野横断的にとりまとめ、ねらいや具体的な取組みなどを示した「プロジェクト」などをまとめた「プロジェクト編」で構成する。

## ア 計画期間

令和元年度～令和4年度（4年間）

## イ プロジェクト編の構成

1	策定に当たって		
2	プロジェクト（5つの柱と23のプロジェクト）		
柱Ⅰ	健康長寿		
1	未病	2 医療	3 高齢者
4	障がい児・者		
柱Ⅱ	経済のエンジン		
5	エネルギー	6 産業振興	7 観光
8	農林水産		
柱Ⅲ	安全・安心		
9	減災	10 治安	11 安心
柱Ⅳ	ひとのチカラ		
12	男女共同参画	13 子ども・青少年	14 学び・教育
15	文化芸術	16 スポーツ	17 雇用
柱Ⅴ	まちづくり		
18	地域活性化	19 多文化共生	20 協働連携
21	自然	22 環境	23 都市基盤
3	かながわグランドデザインとSDGs		
4	神奈川の戦略		
(1)	ヘルスケア・ニューフロンティアの推進		
(2)	人生100歳時代		
(3)	ロボットと共生する社会の実現		
(4)	ともに生きる社会かながわの実現		
(5)	地方創生の推進		
(6)	マグネット・カルチャーの推進		
(7)	グローバル戦略の推進		
(8)	未来社会創造		

## 5 計画推進のための行政運営

- (1) ICT・データの利活用
- (2) 持続可能な行政サービスの提供
- (3) 多様な担い手との連携
- (4) クロスによる施策展開
- (5) 戦略的な広報の実施

## 6 プロジェクトの指標・KPI

## 7 プロジェクトと主要施策との関係

参考 神奈川をとりまく状況

## ウ 主要施策・計画推進編の構成

### 主要施策

#### 1 政策分野別の体系

- I エネルギー・環境
- II 安全・安心
- III 産業・労働
- IV 健康・福祉
- V 教育・子育て
- VI 県民生活
- VII 県土・まちづくり

#### 2 地域別の体系

- 川崎・横浜地域圏
- 三浦半島地域圏
- 県央地域圏
- 湘南地域圏
- 県西地域圏

### 計画推進

- 1 計画の進行管理
- 2 個別計画・指針
- 3 プロジェクト事業費

### 付属資料

かながわグランドデザイン第3期実施計画の策定経過  
神奈川県総合計画審議会答申  
神奈川県総合計画審議会委員名簿  
県民参加などの概要

#### (4) 柱Ⅰ「健康長寿」にかかるプロジェクトについて

##### <趣旨>

食・運動・社会参加の実践によるライフステージに応じた未病改善、地域医療の充実や、介護・福祉サービスの充実、障がいに対する理解促進などに取り組み、福祉先進県をめざすことにより、誰もがその人らしく笑って生き生きとくらし、健康で長生きできる神奈川を実現します。

##### **PJ1 未病**（参考資料1 12ページ）

～いくつになっても笑いがあふれ元気に生き生きとくらせる  
神奈川～

##### <背景とねらい>

超高齢社会を迎えている中、子どもから高齢者まで誰もが笑って元気に生き生きとくらせることが重要であり、SDGsの目標にも通じています。

そこで、すべての世代が未病を自分のこととして考え、「かながわ未病改善宣言」に基づき、「食・運動・社会参加」の3つを柱とする未病改善に取り組めるよう、企業、団体、市町村などと連携しながら、ライフステージに応じた対策や、気軽に実践するための環境づくりなどを推進します。推進に当たっては、ヘルスケア分野において社会システムの革新を起こす人材の育成や、健康に関する様々なデータ分析や活用を行うなど、より効果的なものとなるよう取り組みます。

##### <具体的な取り組み>

- ・ライフステージに応じた未病対策
- ・未病改善を支える社会環境づくり
- ・健康情報の活用による効果的な施策の推進

##### **PJ2 医療**（参考資料1 14ページ）

～最先端医療・最新技術の追求と安心できる地域医療の充実～

##### <背景とねらい>

超高齢社会が到来している中で、県民が必要な最先端医療を含む医療サービスを受けながら、慣れ親しんだ地域で笑いがあふれる生活ができる社会の構築が求められています。

そこで、再生医療等製品などの実用化・普及の促進や重粒子線治療など最先端医療の推進に取り組むとともに、地域に根ざした医療の充実や医療人材の育成・確保を図るなど地域医療構想の推進に取り組み、介護とも緊密に連携する中で、誰もが必要なときに身近な地域で質の高い医療を安心して受けられる医療先進県をめざします。

<具体的な取り組み>

- ・最先端医療の推進・最新技術の追求
- ・地域医療の推進
- ・医療人材の育成・確保

### **PJ3 高齢者（参考資料1 16ページ）**

～高齢者が安心して、元気に、生き生きとくらせる神奈川をめざす～

<背景とねらい>

神奈川は全国屈指のスピードで高齢化が進んでいます。介護や支援が必要な高齢者が増えることが予想されるとともに、一人暮らしの高齢者などの社会的な孤立が懸念されています。一方、高齢者も支えられる側としてだけでなく、地域共生社会の実現に向けて、コミュニティの担い手としてその経験、知識、意欲を生かして活躍していくことが求められています。

そこで、地域包括ケアシステムの推進、認知症の人にやさしい地域づくり、未病改善などの健康・生きがいつくりに取り組み、高齢者が住み慣れた地域で安心して、元気に、生き生きと笑ってくらせる社会の実現をめざします。

<具体的な取り組み>

- ・地域包括ケアシステムの推進
- ・認知症の人にやさしい地域づくり
- ・健康・生きがいつくり

### **PJ4 障がい児・者（参考資料1 18ページ）**

～誰もがその人らしくくらせる地域社会の実現に向けて～

### <背景とねらい>

「施設から地域へ」という障がい福祉施策の大きな流れの中で、障がい者の意思決定支援及び障がい児・者の生活を支える人材の育成やサービスの充実とともに、情報、移動、就労などの各分野で社会参加を妨げる様々な障壁（バリア）を取り除くことが課題となっています。さらに、平成28年7月に県立津久井やまゆり園で発生した痛ましい事件を機に、障がいに対する理解促進の重要性が改めて認識されることとなりました。

そこで、県では、園の再生に取り組むとともに、障がい児・者の生活を支えるサービスの充実や障がい児・者を取り巻く社会的障壁の排除、さらに、障がいに対する理解促進に取り組み、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念である誰もがその人らしくくらすことのできる地域社会の実現を、県民総ぐるみの体制でめざします。

### <具体的な取組み>

- ・障がい児・者の生活を支えるサービスの充実
- ・障がい児・者を取りまく社会的障壁の排除
- ・障がい及び障がい児・者に対する理解促進